



学校だより

12月号

葛野小学校教育目標

「未来を拓く 健やかな 葛野の子」

スローガン 「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ 外遊び」

令和4年11月30日

横浜市立葛野小学校

校長 阿山 美香

互いを認め合うこと

児童支援専任 佐藤 理恵

11月14日からの1週間、登校時に運営委員会の児童による「あいさつ運動」が行われました。子どもたちの元気な挨拶の声にとっても清々しい気持ちになりました。

夏休み明けに行われた「横浜子ども会議泉区ブロック会議」では、誰にとっても居心地のよい学校についての意見交換がされました。「人と人とのつながりを大事にしよう。はじめの一步は、あいさつから」と考える学校が多くありました。本校も同じ考えでした。今回の「あいさつ運動」もその取組の一つです。今後、「ハピレク」というクラスでのレクを通して、いじめの未然防止につなげる取組も行われます。子どもたち同士が関わる中で、相手を身近に感じ、互いのよさに気付くことができるとよいなと思っています。

12月には人権週間があります。1～4年生は人権キャラバン、5・6年生は人権教室を予定しています。自他の違いを認めることや相手を思いやることなどが、誰もが安心して学校生活を送ることにつながっていきます。子どもたちは、そう分かっているにもかかわらず、相手と自分とを比べて同じでなければならないと思ったり、できないことばかりに目を向けてしまったりして自信をなくしがちです。不安な気持ちでいると、思わず相手を責めてしまうこともあります。だからこそ、わたしたち大人は、ありのままの子どもの姿を受け入れ、認め、励ましていく必要があるのだと痛感しています。

また、泣いている子の隣で「ぼく、分かるよ。だってね、〇〇さんね・・・。」と教師に教えてくれる子、「あのね、きっと負けちゃってがっかりしているんだよ。」と机に突っ伏している子の代弁をしてくれる子など、子どもたちが、困っている子の気持ちに寄り添っている場面に出会うことも多いです。そんなとき、私たちは、まず、子どもたち同士の関係性を見守ることにしています。友達に自分の気持ちを分かってもらえている安心感、きっとその経験が糧となるのだらうと信じています。

3年生が3年ぶりに開催された泉区音楽会で、素晴らしい演奏を披露してきました。とても達成感があったのではないのでしょうか。それまでのがんばりがあったからこそです。間近に迫った音楽祭は、ペア学年での発表です。それぞれが一生懸命取り組んできたことなので、互いを認め合うよい機会となることでしょう。自分に自信をもつこと、その上で相手を認めることができたらいいなと願っています。また、当日は、保護者の方々の参観もあります。子どもたちのがんばりやお子さんの成長を大きな拍手で応援していただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。